

平成30年度 西九州大学・西九州大学短期大学部 子ども研究ネットワーク 第10回研究大会が開催されました。



福元裕二学長の挨拶で研究大会が始まりました。地域連携・支援の重要性を中心に学長の思いが込められた挨拶となりました。

関係諸機関、家庭との連携の 在り方について考える ～発達支援に携わる心理職の立場から～



徳島大学大学院社会産業理工学研究部
上岡 義典 (Yoshinori UEOKA, Ph.D.)
(Field of Psychology, Graduate School of
Industrial and Social Sciences Tokushima)

2019/2/24

「子ども研究ネットワーク」研究大会



基調講演には徳島大学の上岡義典先生をお招きして、「関係諸機関、家庭との連携の在り方について考える」というタイトルで、具体的な事例を交えながら、先生のこれまでの研究と経験に基づく貴重なお話を聞くことができました。

平成31年2月24日
西九州大学シンポジウム

学校と放課後等デイサービスとの 連携の在り方

～ある小学校でのモデル研究を通して～



徳島県立阿南支援学校
教頭 猪子秀太郎

パネルディスカッションの話題提供者として徳島県立阿南支援学校の猪子秀太郎先生をお招きしました。小学校と放課後等デイサービスとの密接なつながりについて実践報告を交えてご報告いただきました。先生の柔らかい関西弁も印象的でした。

一人ひとりを大切に考えた子育て支援 ～家庭との連携や小学校との繋がり～



愛の泉こどもの園 主幹教諭
馬場恵里香



2番目の話題提供者には佐賀市内の愛の泉こどもの園から馬場恵里香先生をお招きしました。子どもが過ごしやすくなることを目的として保護者や小学校と密に連携している事例をご報告されました。やさしい口調で日々の素晴らしい実践を語ってくださいました。



ディスカッションが始まってすぐにフロアからも積極的に質問がありました。時間のない中、コーディネーターの占部尊士先生もフロアからの質問に丁寧に対応されていました。

治療や福祉のつながり



子ども学部の高尾兼利先生が本学園の取り組みと展望、そして地域との連携について説明され、閉会のご挨拶とされました。

総勢82名の参加がありました。幼児教育・保育関連事業所、小学校、放デイを含めた各施設、行政関係者等 様々な立場の方が参加されていました。本当に中味の濃い研究大会になりました。改めて3人の講師の先生、並びにご参加頂いた皆様に感謝申し上げます。